

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築CAD 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	綱川 大介			実務 経験	有	職種	建築設計／建築設計事務所主宰				
担当教員紹介											
<p>意匠系設計事務所で3年間勤務後、独立し設計事務所を設立。住宅・集合住宅・オフィス・店舗・宿泊施設・福祉施設の設計・監理を経験している。2014年からはNPO法人すまいづくりまちづくり協議会理事に就任。</p>											
授業概要											
<p>この授業では短期間で完成できる課題を3～4回に分けて行い、達成感を与え自信をつけてもらう。まず基本である平面図の作図を行い、各部屋の空間のスケール感を養う。建物の図面を描く課題を経て、最終的にはその図面を用いプレゼンテーション図面を作成する。プロジェクター投影で実際に同じ課題をこなし、出来るだけライブ感を出した授業を行う。最終的には学生自身のみで描く。またプロジェクターを通して建築の面白さや魅力、素晴らしさを写真や動画、そして我々の経験を活かした授業を行う。この授業では短期課題を3～4回に分けて行い達成感を与え自信をつけてもらう。建物の図面を描く課題を経て最終的にプレゼンテーション図面を作成する。実際に同じ課題をこなし、最終的には学生自身のみで描く。</p>											
到達目標											
<p>数回に分けられた様々な課題から最終的には自分自身の作品を紙面にまとめ、また一人一人がプレゼンテーションを行うことで、技術的なハードスキル(CAD操作)や話術的なソフトスキル(発表能力)を少しでも身につけ、社会に出てからの実践力の習得を目標とする。</p>											
授業方法											
<p>目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。</p>											
成績評価方法											
出席	50%	積極的な授業参加によって評価する									
課題	40%	課題提出状況、理解度、出来具合によって評価する									
平常点	10%	授業態度によって評価する									
履修上の注意											
<p>休まず出席することが大切である。課題説明時、課題内容だけでなくプリント配布、注意点などをしっかり把握すること。課題は途切れず進んでいくため、欠席すると分からなくなったり、ついていけなくなる。また作図時は、描く線の意味を考えながら進めていくことが大切である。</p>											
教科書教材											
<p>毎回レジュメ・資料を配布</p>											
回数	授業計画										
第1回	平面図の作成	簡単な平面図の作成(全2回)									
第2回	平面図の作成	簡単な平面図の作成(全2回) 提出									
第3回	CAD演習	手描きプランをCAD図面におこす									

第4回	CAD演習	CAD図面の作成（線種の使い分けを意識）
第5回	CAD演習	CAD図面の完成（提出及び添削指導を受ける）

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築CAD 2	
第6回	有名建築のトレース 建築家自邸の平面図・立面図・断面図の作成①
第7回	有名建築のトレース 建築家自邸の平面図・立面図・断面図の作成②
第8回	有名建築のトレース 建築家自邸の平面図・立面図・断面図の作成③
第9回	有名建築のトレース 建築家自邸の平面図・立面図・断面図の作成④ 提出
第10回	設計課題のプレゼンテーション 設計課題（戸建住宅）の図面作成
第11回	設計課題のプレゼンテーション 設計課題（戸建住宅）の図面作成
第12回	設計課題のプレゼンテーション 設計課題（戸建住宅）の図面作成
第13回	設計課題のプレゼンテーション 設計課題（戸建住宅）の図面作成
第14回	設計課題のプレゼンテーション 設計課題（戸建住宅）のプレゼンテーション図作成
第15回	設計課題のプレゼンテーション 設計課題（戸建住宅）のプレゼンテーション図作成 提出